

第73期生入学式「式辞」

今年の桜は新入生の皆さんの入学式を待ちきれなかったようです。

本日、大阪府立清水谷高等学校第73回入学式を挙行するにあたり、ご多用のところ、多数のご来賓の皆様方のご臨席をいただき、まことにありがとうございます。心からお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました281名の皆さん、ご入学おめでとう！

本日は、新入生の皆さんを祝福するような春の暖かい陽光に恵まれて、新しいスタートにふさわしい日になりました。その輝かしい第一歩を踏み出すに当たって、お祝いの言葉を申し上げます。

清水谷高校は、明治33年に大阪府第一高等女学校として開校を認可され、翌明治34年に「大阪府清水谷高等女学校」として、大阪城の南に位置する清水谷の地に開校して以来、卒業生は3万6千名を超えています。現在も、大阪を代表する男女共学の普通科として、学問・芸術・文化・スポーツ・産業界など多方面で活躍する人材を送り出し続けています。

皆さんは今、この入学式に臨み、様々な思いを抱いていることであらうでしょう。ある人は受験勉強から解放されることを喜び、ある人は高校生活にうまく適応できるだろうか、友達ができるだろうかと不安を感じ、ある人は高校生活をできるだけ楽しく送ろうと考え、またある人は3年後の進路を強く意識して、一層よく学ぼうと決意を固めているのかもしれない。

しかし、皆さんの心の底に共通してあるのは、『清水谷高校に入学できた』という喜びと、清水谷の生活への大いなる期待であらうと思います。皆さん自身が努力の結果として、手に入れた入学の喜びに酔い、期待に胸をふくらますのは当然であり、その喜びと期待の中からこそ、新しい出発への意欲と決意も生まれるものであります。今それをしっかりと噛み締めてください。清水谷高校の教職員は、その喜びと期待を感じ取り、それに精一杯応えていきたいと思っておりますし、皆さんがこの清水谷高校において、さらなる可能性を伸ばされることを信じ、心より歓迎いたします。

本日の初心を忘れることなく、自己の目標に向かって、合格のかなわなかった受験生の分まで惜しみない努力を積み重ねられ、これから本校で過ごされる一日一日が充実したものでありますようお願いいたします。

さて、この3年間の高校生活のスタートに当たり、皆さんにぜひ心得ておいてほしいことが三つあります。

まず1つは、「勉学に打ち込んでほしい。」ということであり、

皆さんは、新たな大学入試制度での受験生第一期生であり、3年後の受験を見据えた高校生活が必要となっています。そのために皆さんに心がけてほしいことは、「毎日の授業を大切にしてください」ということです。高校の学習内容は中学校に比べてかなり

専門性が高く、難しくなってきます。当たり前のことですが、勉強は自分から求めてするものです。したがって、目標を持って学ぶことが大切であり、それに自らの意思で学ぶことです。皆さんもよく知っている孔子が書いた論語には、「学んで時にこれを習う、またよろこばしからずや」とあります。この意味は、学習したら、そのことについて、いつでも時間さえあれば復習する。それはうれしいことではないか」をいうことです。復習の大切さを強調しています。健康や体調に気をつけて授業に集中力を発揮することはもちろん求められることですが、そのための準備、つまり予習や復習など家庭学習を絶対に怠らないことが必要です。

本校は、週2回の7時間目授業の実施やスタディーサポートの実施などの学習指導、進路指導、また生活指導において様々な取り組みを行っており、進路実績においてその成果の一端が表れています。どうか一日も早く授業を最優先した生活を確立してください。

2つ目は、授業以外の活動にも積極的に参加してほしいということです。

清水谷には、全国大会の常連になっているクラブから、地道にコツコツと活動している15の文化部、18の運動部があります。また、生徒自治会を中心とした自治会活動、昨年度は登校時のあいさつ運動など自主的に活動しました。そのほか体育祭・文化祭の学校行事や生徒委員会活動など、生徒が勉学以外に活躍できる場面が数多くあります。それらの教育活動にも積極的に参加してください。困難なことや壁にぶつかることも多いと思いますが、それだけに「勉学」だけでは経験できない、かけがえのない「絆」や「誇り」とできること」が得られるものと確信いたします。

3つ目は、「ベストをつくす」の精神を大切にしてほしい、ということでもあります。

私の尊敬するある府立高校の元校長先生は、学生時代に柔道に打ち込み、自分の体力・精神力の限界は自分が思っているよりももっと先にあることを知ったと言っています。なぜなら、その時は死ぬほどしんどい、もう限界やと思っけていてもぶっ倒れることは無かったからだそうです。

自分が思う体力・精神力の限界は、本当の限界ではありません。本当の限界は自分が思っているよりももっと先にあると信じ、高い「志」を持ち、常に向上心をもって、自らの潜在能力を高め、あきらめずに挑戦することが「夢」の実現を可能にするということを忘れないでベストを尽くしてください。

おわりになりましたが、本日の入学式にご出席いただきました、保護者の皆様に申し上げます。お子様の清水谷高校へのご入学、まことにおめでとうございます。清水谷高校教職員一同、大切なお子さまをお預かりし、さらなる成長に向けて、学校組織をあげて全力で鍛え上げるつもりであります。

その際、学校に対する疑問や質問、またご要望がございましたら、どんなことでも結構ですので、どうか遠慮なくお申し出いただければ、大変ありがたいと存じておりますので、どうかよろしくご願ひ申し上げます。

以上をもちまして入学式の式辞といたします。

平成30年4月9日 大阪府立清水谷高等学校長 橋本 卓爾